

公益社団法人 長崎県理学療法士協会 役員選挙立候補者

【理事】

<p>大山 盛樹(58歳)</p>		<p>志岐 浩二(46歳)</p>	
<p>所属 (医)医理会 柿添病院附属中野診療所</p>		<p>所属 医療法人稲仁会 三原台病院</p>	
<p>立候補趣旨</p>		<p>立候補趣旨</p>	
<p>引き続き、長崎県理学療法士協会の理事に立候補させていただきます。本協会は2022年度に設立50周年を迎えた歴史の深い職能団体です。この間、30有余年に涉り、本協会に携わらせていただき沢山の先輩方からご指導を受け、今は沢山の会員の皆様方より、勉強をさせていただいております。再び、皆様方からのお知恵をいただき本協会の運営に携わり、勉強を重ねたいと誓い、立候補に至った次第です。</p> <p>新しい組織となって以来、重点的に取り組んでいる、2025年問題と地域包括ケアシステムにおいて最重要な理学療法士の参画や指定規則改正に伴う我々の後進を育て将来を築く理学療法士を望むための臨床実習指導者講習、そして理学療法士の教育と社会的地位の向上を明確に確固たるものにするための新生涯学習システム等には、今も形を変えながら私たちの生活を狭め動きづらくしているコロナ禍ではあるものの、留まることなくフォームやバージョンを柔軟に対応しながら相対しなくてはなりません。</p> <p>また、忘れる間もなく発生している大災害は幸いにも本県では近年の経験はありませんが、平時より常に災害に対応できる理学療法とリハビリテーションの推進体制を有しておかなくてはなりません。</p> <p>これらの事業ならびに展開を会員の皆様方が円滑に行える様、骨身を削る思いで更なる努力を重ねる所存です。</p> <p>会員の皆様はもとより、他団体や会員ではない方々からも魅力を感じていただける強固な職能の組織を築き上げるために、本協会51年目を踏み出し注力させていただきたいと存じます。どうぞ、よろしくお願い致します。</p>		<p>教育学術局生涯学習担当理事という立場で、理事3期目を務めさせていただきます。2022年4月には、(公社)日本理学療法士協会新生涯学習システムの運用が控えております。会員の皆様が生涯学習システムへ円滑に移行して頂けるように、お手伝いが出来ればと思っております。</p> <p>また、推進リーダー制度、管理者研修会、臨床実習指導者研修会等々、様々な形で今後も関わらせて頂ければと思っております。</p> <p>会員の皆様から諸々の問い合わせに対して、(公社)日本理学療法士協会教育推進課や九州各県の生涯学習担当者との連絡・意見交換などを行い、皆様の生涯学習が円滑に行えるようサポートさせて頂ければと思っております。</p>	
<p>大石 勝規(44歳)</p>		<p>小無田 彰仁(56歳)</p>	
<p>所属 学校法人岩永学園 こころ医療福祉専門学校</p>		<p>所属 医療法人和仁会 和仁会病院</p>	
<p>立候補趣旨</p>		<p>立候補趣旨</p>	
<p>地域局長として地区部長の協力を得て、生涯学習ポイント取得可能な地区研修会の運営を意識し、会員の研鑽とともに認定・専門理学療法士取得の支援などにも貢献できたら幸いです。新しい生活様式のなかでもICT有効活用も味方にして、身近な地区の仲間とともに、情報の共有や研鑽とともに、ネットワーク強化に取り組みたいです。</p> <p>昨年は、JPTAの公募からIOC推薦を経て「東京2020オリンピック」にも選手村ポリクリニックにて従事しました。地域スポーツへの貢献、健康増進、障がい者スポーツ支援や促進の視点などについても多くの会員と共有できれば幸いです。本会業務に関わる契機となった広報誌「ぴーかんてらす」は、県民に知ってほしい内容を熟慮して、これまで13号発刊しました。今後も、理学療法士の魅力を実感できる協会活動に寄与したいと思っております。</p> <p>皆様と共に「やりがいのある理学療法士」であり続けるよう頑張ります。よろしくお願い致します。</p>		<p>会員の皆様、日頃より協会活動にご理解とご協力を賜り感謝いたします。長崎県理学療法士協会は平成25年4月に第三者委員会による公益性の審査を受けて、行政庁(内閣府又は都道府県)より公益認定を受けました。公益法人はコンプライアンス(法令順守、規範順守、法人リスクマネジメント)およびガバナンス(コンプライアンスを維持・改善させるための管理体制)について厳しく監督され、その屋台骨を支える法人事務局の役割と責任は非常に重いものと受け止めています。</p> <p>私は平成26年4月より事務局長を拝命し、協会活動の土台を担う部局として、①総務機能、②財務機能、③庶務機能、④広報機能の改善と拡充に向けて活動して参りました。令和元年には(長崎市東町1755-1)の地に念願の戸建て新事務所を開設し、同時に2名の事務員を配置し、事務局IT環境の整備と拡充、広報機能の改善、ペーパーレス化などに着手し、理事執行部や各部局、地区活動の下支えとなるように努めて参りました。</p> <p>時代はコロナ禍に見舞われ、先の状況は混沌としています。新事務所(東町事務所)を活動拠点の中心に置き、更なる事務局機能の強化(見える化・IT化促進)へ邁進するとともに、地区(会員)との密な連携構築(ネットワーク構築)に向けて努めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。</p>	

<p>菅原 順哉(40歳)</p>		<p>飯野 朋彦(42歳)</p>	
<p>所属 社会医療法人 春回会 長崎北病院</p>		<p>所属 介護老人保健施設 にしきの里</p>	
<p>立候補趣旨</p> <p>現在、事務局財務担当理事という立場で2期目を務めさせていただきました。引き続き理事に立候補いたします。</p> <p>私は財務担当という立場で事業全体に関わる財政の管理や公益社団法人の基準を満たすために必要な書類整備や手続きに関する仕事を担当させていただきました。また西彼西海地区の担当理事として微力ながら研修会や地区活動の企画、運営にも関わらせて頂いています。</p> <p>2期目であるこの2年間はコロナ感染に気を配りながらの事業運営であり、会員の皆様にも不安や不便さ感じた方も多いためです。一旦構築されかけていた地区内の交流や管理者ネットワーク構築も思うように進まなかったように感じています。現在、第6波の最中ではありますが、これらの課題に事務局財務という立場で会員の皆様が協会活動を安心して遂行できるようにお手伝いしたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。</p>		<p>立候補趣旨</p> <p>平成30年度に理事を拝命し、以来2期(4年間)、社会事業局担当理事として業務に携わらせていただきました。2期目を迎えたこの2年間は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い様々な活動が制限を受けてきました。しかし、リモートによる研修開催などの新しい試みも功を奏したのではないかと考えています。引き続き若い会員の皆様と県士会活動を共有。特に地域活動を通してこれまでの経験を活かし、理学療法士が県民に寄与できるような仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えています。何卒よろしく願い申し上げます。</p>	
<p>重松 康志(53歳)</p>		<p>小柳 傑(53歳)</p>	
<p>所属 医療法人 雄人会 三川内病院</p>		<p>所属 リハビリセンター大村</p>	
<p>立候補趣旨</p> <p>長崎県理学療法士協会の業務に長年、携わらせていただいております。主に健康増進と啓発事業を担当し、県内における小・中・高校生のスポーツ競技大会のメディカルサポート活動さらに障がい者スポーツ・高齢者のスポーツ大会などに関り、幅広い領域で仕事をさせていただきました。会員の皆様のお陰で様々な団体との繋がりができ、理学療法(士)の必要性や重要性を認識していただくことができました。</p> <p>そして、今年度、会員の方々のその地道な活動が認められ、協会は長崎県教育委員会よりスポーツ功労顕彰(団体)の表彰を受けました。会員の皆様のご尽力に感謝いたします。昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、さまざまな制約があり、動きづらい世の中ではありますが、引き続き会員の皆さんと一緒にスポーツ活動支援の推進、啓発事業を今まで以上に展開していきたいと考え、立候補いたしました。どうぞ、よろしく願いいたします。</p>		<p>立候補趣旨</p> <p>私は現在理事として社会局と地域局に関わらせていただいております。社会局では医療保険部と介護保険部、地域局においては東彼地区を担当しております。今後、理学療法士は理学療法の分野のみでなく社会全体の中で、どう考え行動していくかという俯瞰した考えと研鑽が重要となります。</p> <p>現在新型コロナウイルスの影響で、活動が制限される中で、新しい形で、より適切な情報提供や活動を迅速に行っていきたいと考えております。どうぞ宜しく願い申し上げます。</p>	

山下 潤一郎(58歳)		小泉 徹児(51歳)	
社会医療法人長崎記念病院 リハビリテーション部		社会福祉法人十善会 十善会病院	
<p>平成30年度より、副会長を拝命し大山会長の新体制の下に会長の協会体制の内外の可視化、会員ファーストの考え方を会員諸氏にという考え方を浸透させるために士会活動に尽力して参りました。</p> <p>現在、臨床実習養成講習会の県士会と養成校との調整役として活動しております。まだ養成者数は充足しておりませんので、引き続き養成者増に向けて研修会の開催を行っていくとともに、養成講習会を終了した会員については、スキルアップを図る研修会等の開催を考えています。</p> <p>2025年には地域包括ケアシステム完成のゴールが近づいております。その中で昨今言われています、高齢者だけでなく障害児者まで含めた地域共生社会の構築に向けて我々の役割は、さらに増してくると思われれます。そのような中で協会として何ができるかを見極め、会員諸氏に発信でき、新たな職域・活動の場を提供できる県士会を目指していきたいと思っています。今後も士会活動に参画し、医療・福祉(介護)・保健分野に貢献できる会として、会員諸氏だけでなく県民にも必要とされる会となるよう尽力するために立候補いたします。</p>		<p>平成23年度から県士会の理事を務めさせて頂いており、今回で7期目の立候補になります。平成28年度からは、副会長3人体制の一人として役割で活動してまいりました。</p> <p>2020年初頭からのコロナ過により県士会の事業も大きく制限を受ける中、今年度は『九州理学療法学会』や『創立50周年』という大きなイベントがあり、この2大事業を盛大に開催できたことは県士会の宝となりました。これらの事業の運営にご協力を頂きました会員の皆様には心より感謝を申し上げます。</p> <p>次年度からは、新生涯学習システムの開始や日本協会との公益事業の連携体制の新展開など県士会としても新たな時代(体制)への突入の年になると感じています。他にも災害対策、地域包括ケアシステムへの参画、公益活動の継続と新設、労働環境づくりなども必要と考えています。</p> <p>今後とも会員皆様のかかわらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。</p>	
森 健次郎(30歳)			
学校法人向陽学園 長崎リハビリテーション学院			
<p>新型コロナウイルス感染拡大によって、それぞれの立場で大変な不安と緊張の中で仕事に当たられていることと拝察します。そのような中、新しい形で研修会や講習会の開催をしていただいていることは大変ありがたいことだとも思います。われわれ理学療法士は専門職として、自己研鑽を含めた生涯学習を継続して行う責務があり、多様化するニーズに応える理学療法士を育成していく目的で、今年度から新生涯学習制度が開始となるため、今後も新しい形で研修会や講習会が開催されることが予測されます。</p> <p>養成校教員として新生涯学習制度の対象となる今後卒業していく新人理学療法士たちのために何かできることはないかと考え、若輩者であり僭越ながら、長崎理学療法士協会の発展に微力を尽くして取り組むことができればと考え、ここに立候補いたします。</p>			

(届け出順 敬称略)